

テーマ: 充実した4年間を送るための学生カルテ・ポートフォリオの活用

実現案一覧

【学生情報の共有】

- ・情報公開範囲は守秘義務に配慮し、教員を含め、部署を越えたものとする。
- ・先入観にとらわれないために、各記録はフォーマットに基づいたものとする。
- ・入力方法における研修と、マニュアルの作成。
- ・記録を管理する部署および、個人情報保護委員会で、各記録の検証を定期的に行う。

目的・目標	実現案の概要	①組織体制・制度	②要員(人材育成)	③設備・経費など
1.学生カルテ・ポートフォリオを利用したキャリア支援の充実				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談記録を利用したキャリア教育支援</li> <li>・履修指導の自動化</li> </ul>				
1-1.面談記録の統一化 ・導入6ヶ月前までに面談項目の決定。 ・システム導入までに、担当教職員対象の研修会参加率を100%にする。	「面談シートの作成」 担当者によって、入力項目や入力内容に偏りがないように定型化したフォームを作成する。 入力するための教育も同時に行う。 面談記録を蓄積することにより、継続的な指導ができるようにする。	教務、学生情報を集約する。 キャリア支援課が中心となり、面談項目を決定する。	キャリア支援課内でプロジェクトチームを作り、学内全体の研修体制を整える。	面談記録入力研修会の関連経費
1-2.履修モデルの形成 ・システム導入6ヶ月前までに、すべての学部学科において5パターン以上の履修モデルの形成をする。	「履修モデルの作成」 ・学部・学科で考えられるキャリア形成に必要なとされる履修モデルを教職協働で作成する。 ・キャリア担当が各学科に進路先の情報をとる。 ・学科独自で取得できる資格に必要な科	キャリア支援課が中心となり、教務と学科教員(就職担当・教務担当)の3者でプロジェクトを立ち上げる。	キャリア支援課、教務課相互の知識を有する人材の育成。	
1-3.履修モデルの確立 ・導入後2年後から毎年継続して履修モデルの検証を行う。	「履修モデルの見直し」 ・卒業生からの情報提供をモデル作成に利用する。 ・卒業生の授業履修状況、成績情報を分析し、履修モデルの見直しに利用する。 ・卒業生の作成物、卒業論文テーマを公開し、進路選択の参考にする。	キャリア支援課・教務課が中心となり、学科教員(就職担当・教務担当)との3者でPDCAサイクルで検証する。 卒業生とのネットワークの形成。	キャリア支援課、教務課相互の知識を有する人材の育成。 履修データ、就職先データを分析できる人材の育成。	

目的・目標	実現案の概要	①組織体制・制度	②要員(人材育成)	③設備・経費など
2.単位不良者のケア ・学生本人に対してのケア ・保証人に対してのケア	「ポータルサイトによる情報発信」 ・保証人に対して、出欠状況の連絡 ・学生に対して、欠席の多い授業科目の自動配信	教務部門が中心となり、プロジェクトチームを結成する(システム部門から職員を派遣する)。	システムに係る能力を持った教務部門スタッフを養成する。(資格取得支援)	ポータルサイト関連経費(構築、改修) 資格取得経費
	「保証人への学生情報開示」 保証人用のポータルサイトを構築し、学生の成績状況を開示する ・保証人用ID、パスワードを配布し、オンデマンドで確認が可能とする。  出欠状況、成績状況に基づく面談 ・保護者面談 ・学生面談(メンター制の導入)	サイト構築のためのプロジェクトチームを結成し、個人情報保護委員会と連携を図る。  面談対応者の選出 メンターの選出(先輩学生、院生)	メンターとなりうる学生の育成 メンター研修の実施(教職員、学生・院生)	ポータルサイト関連経費(構築、改修) メンター研修関連経費
3.ポートフォリオの外部公開 ・受験生へのロールモデル公開及び、在学生のモチベーション向上 ・企業/社会へのアピール	「公開内容の確立・モチベーションの向上」 ・先輩、在学生、成績優秀者、有名企業就業者のポートフォリオを公開。 ・学部、学科、学年、内定先企業で一覧化し、その中から選択できるようにする。 ・必修科目の修得条件としてポートフォリオの利用を条件とする。 ・履修する科目が学外に公開されていることを意識することによる、学習に対する取	・就職部・教務部から選考チームを選出し、公開対象者の学生ピックアップ。 ・個人情報は非公開。	・受験生・在学生在が志向している学生像を敏感にキャッチできる人材を育成する。 ・教員のポートフォリオ作成要領を教育する。	・HPにリンクを貼る。 ・ポートフォリオ作成の教育費。
	「社会に対する情報発信」 ・特色(学科、地域密着など)のある科目についてのポートフォリオを公開し、学生が何を学んでいるかを世間にアピールする。	・教務部を中心として、各学科の教員から編成された委員が、公開科目を選考		